

授業科目名 ( 英文名 )	外書演習 ( Advanced seminar )	科目区分 対象学生	
単位数	4.0	開講年次・ 学期	2
担当教員	金志 佳代子	所属	経営学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>身近な話題から国際問題に至る現代社会の諸事情についての英文テキストを読み、国際的な視点から自らの文化・社会について考えることを目的とする。以下を到達目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 英文読解力の向上</li> <li>2. ディスカッション能力の修得</li> <li>3. 効果的なプレゼンテーションの修得</li> <li>4. 論理的な文章の書き方の修得</li> </ol>		
講義内容・授業計画	<p>講義内容</p> <p>前期は、英文の文献を輪読しながら、グループ発表形式で進めていく。英文は、単なる訳読をするのではなく、題材をもとに自分の知識・経験を生かした発表、ディスカッションを行う。さらに、関連論文・記事を用いて自分の意見を英語で表現・発表できる練習を行う。後期は、講義のテーマに関連した題材を用いて、英語によるグループ発表を行う。</p> <p>授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1                    オリエンテーション 講義説明など</li> <li>2 - 3                文献の検索</li> <li>4 - 8                文献の輪読・ディスカッション</li> <li>9 - 13              グループ発表</li> <li>14 - 15            レポート作成のための実習</li> <li>16 - 20            関連論文・記事の読解</li> <li>21 - 25            グループ発表 ( 英語 )</li> <li>26 - 30            ディスカッション ( 英語 )</li> </ol>		
テキスト	授業中に適宜指示する。		
参考文献	授業中に適宜指示する。		
成績評価の基準・方法	出席 ( 20% )、ディスカッションへの積極的な参加 ( 20% )、クラスでの発表 ( 40% )、レポート ( 20% ) を基準として総合的に評価する。		
履修上の注意・履修要件	授業では、グループワークやディスカッションへの意欲的・積極的な参加を重視します。授業は必ず予習をして出席してください。無断欠席、遅刻は厳禁です。		
実践的教育	該当しない。		
備考	本講義は、教員の専門である応用言語学に関連して学部レベルの演習授業として開講するものである。		